

# 自治会行事中止します

新型コロナウイルス感染症の為、今年度の下記行事は中止とします。

- \*子どもクリスマス会
- \*フェスタ王五  
(もちつき大会)
- \*2021年新年会

## 王子五丁目団地

# 自治会会報

第365号/2020年11月15日

公団王子五丁目団地自治会

東京都北区王子5丁目2番  
2号棟110室  
(月-金)9~16時 (土)9~12時  
電話・fax 03-3913-6723  
Eメール: ougo@m3.dion.ne.jp  
http://www.dion.ne.jp/ougo/

# 第12回住まいのアンケート ずっと住み続けたい!

**安心して住み続けたいが  
高齢化の不安は消えない**

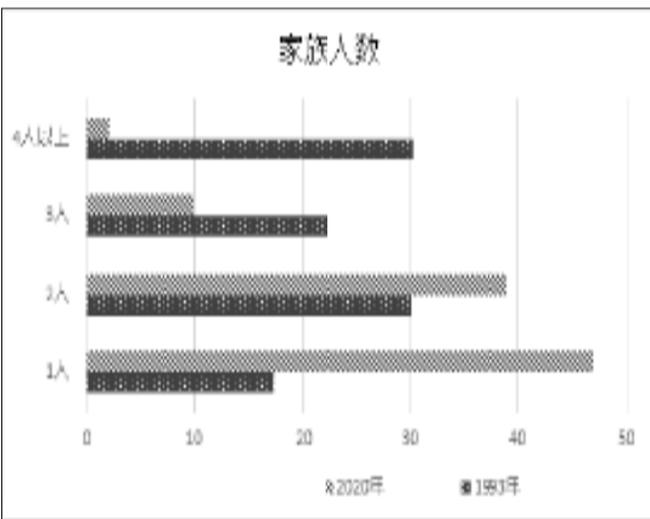
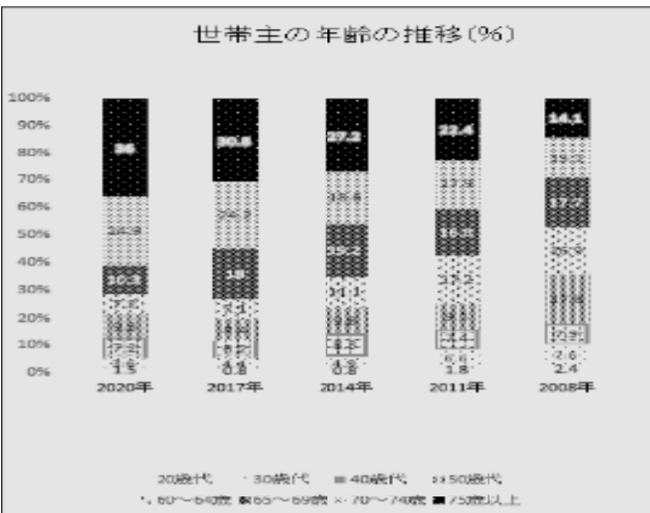
団地の生活と住まいアンケートにご協力いただきありがとうございました。第12回目のアンケート結果から見える居住者の実態は、「高齢化」「年金生活」「永く住み続けたい」ということでした。このアンケートでは修繕などの要望項目もあり、多くの方からの回答は、今後UR等への交渉時に参考とします。アンケートの回収率は30%でした。

### 世帯主の高齢化すすむ

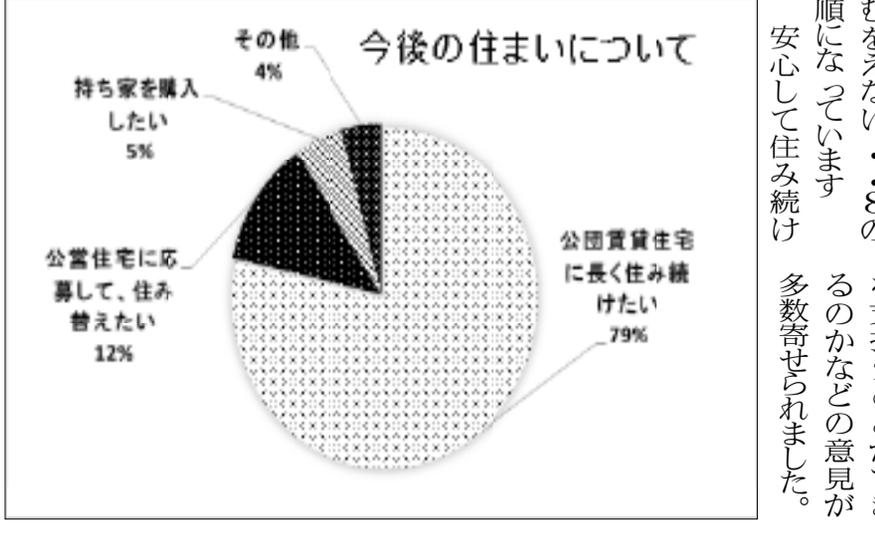
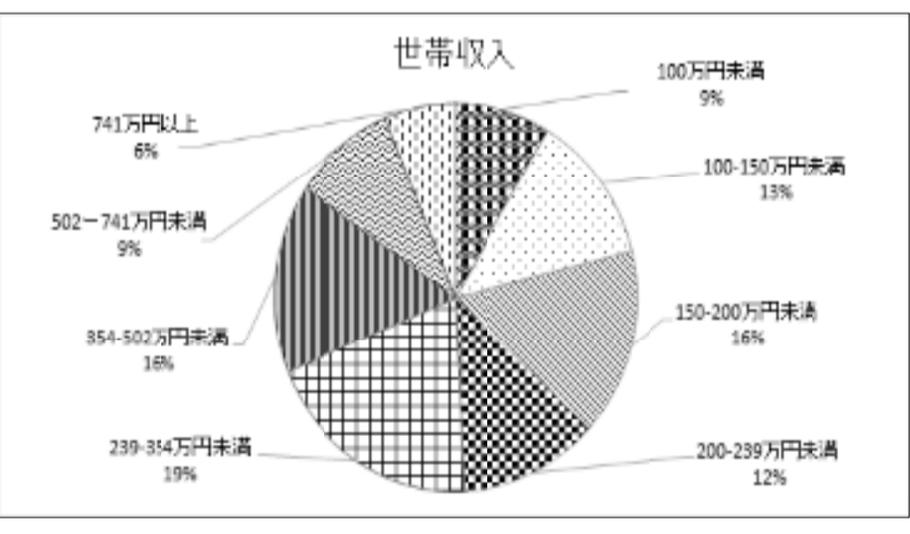
1999年のアンケートでは60歳以上は36%でしたが2008年は63.8%、今年2020年は78.4%となり、居住者の高齢化が進んでいることがわかります。40代以下は10%から20%を維持しています。団地内では小さな子どもたちも見かけますが自動車の通行もなかなか安心して遊ぶことが出来る場所として王子五丁目団地内の広場等は大勢の方に利用されていますが、実際に居住されている子育て世代は少なくなっています。

### 一人・二人暮らしは86%

今から22年前の1993年のアンケートでは一人は17%、二人は30%でした。今年は一人居る方が47%、二人が39%で80%以上の方が二人以下の結果でした。東京23区内の団地自治会の集計でも一人暮らしは47.6%、二人暮らしは36.6%、二人暮らしは36%と統一されています。王子五丁目団地は1976年入居を開始し、その当時は子育て世代が圧倒的に多く、団地内にも桜田小学校が併設されていましたが、2005年には近くの学校へ統合されました。



収入を得ている人は一人のみは64%、二人は32%となっています。収入は年金のみが39%と最も高く、給料と年金16%、給料パートアルバイトと年金の収入13%の結果で年金とアルファ世帯が68%と高率になっています。今後の家賃についての要望(複数選択)は、①高齢者世帯の減額・②352帯の減額・③52帯の据え置きを78%引き下げを27%④収入に見合った家賃に23%⑤子育て世帯の収入を得ている傾向が顕著となっています。家賃負担は大変重たい52%、やや重い36%と高家賃に苦しむ姿が見えます。



毎年取り組んでいる、国土交通大臣と私たちの大家である都市機構理事長宛の署名を今年も行っています。この署名は自治会が結成以降取り組んでいる署名で、12月に全国の団地自治会が集約された署名を提出しています。署名をおこなっても何も改善されないとの声を聞くこともありますが、傾斜家賃の短縮や、家賃への消費税の廃止、UR負担の修繕区分の拡充などの成果が出ています。今年の署名提出はコロナウイルス感染症の影響で、全国的な集約は開催せず、各地方自治協の代表がUR本社・支社に届けることとなっています。まだ署名をしていない世帯は封筒に記載した受付ポスト、または自治会事務所をお願いします。

減額を58%やたいけど、今後家賃を支払うことが出来るのかなど意見が順になっています。安心して住み続けたいけど、今後家賃を減額を58%やたいけど、今後家賃を支払うことが出来るのかなど意見が多数寄せられました。

**統一行動に取り組んでいます  
署名にご協力ください**